

空母艦載機の岩国飛行場への移駐について

- E-2Dは、2月に第5空母航空団の一員として加わり、岩国に飛来し、E-2CからE-2Dに部隊更新する。
- E-2Dは、2、3ヶ月程度、岩国飛行場に前方展開し、配備前訓練を実施した後、一旦、空母ロナルド・レーガンに搭載されることになる。
- 第5空母航空団の厚木飛行場から岩国飛行場への移駐は、2017年後半に開始される予定であるが、早ければ2017年7月以降、空母ロナルド・レーガンが横須賀に寄港する時期になる。
- 移駐計画は、今後の米側の運用により変更があり得る可能性があるが、現時点における具体的な移駐計画は、次のとおり。
 - 2017年11月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国へ移駐
 - 2018年1月頃、EA-18Gの部隊及びC-2の部隊が岩国へ移駐
 - 2018年5月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国へ移駐
- 空母艦載機の移駐に伴い、軍人約1,700人、軍属約600人、家族約1,500人が岩国飛行場へ移動する予定。(合計約3,800人)

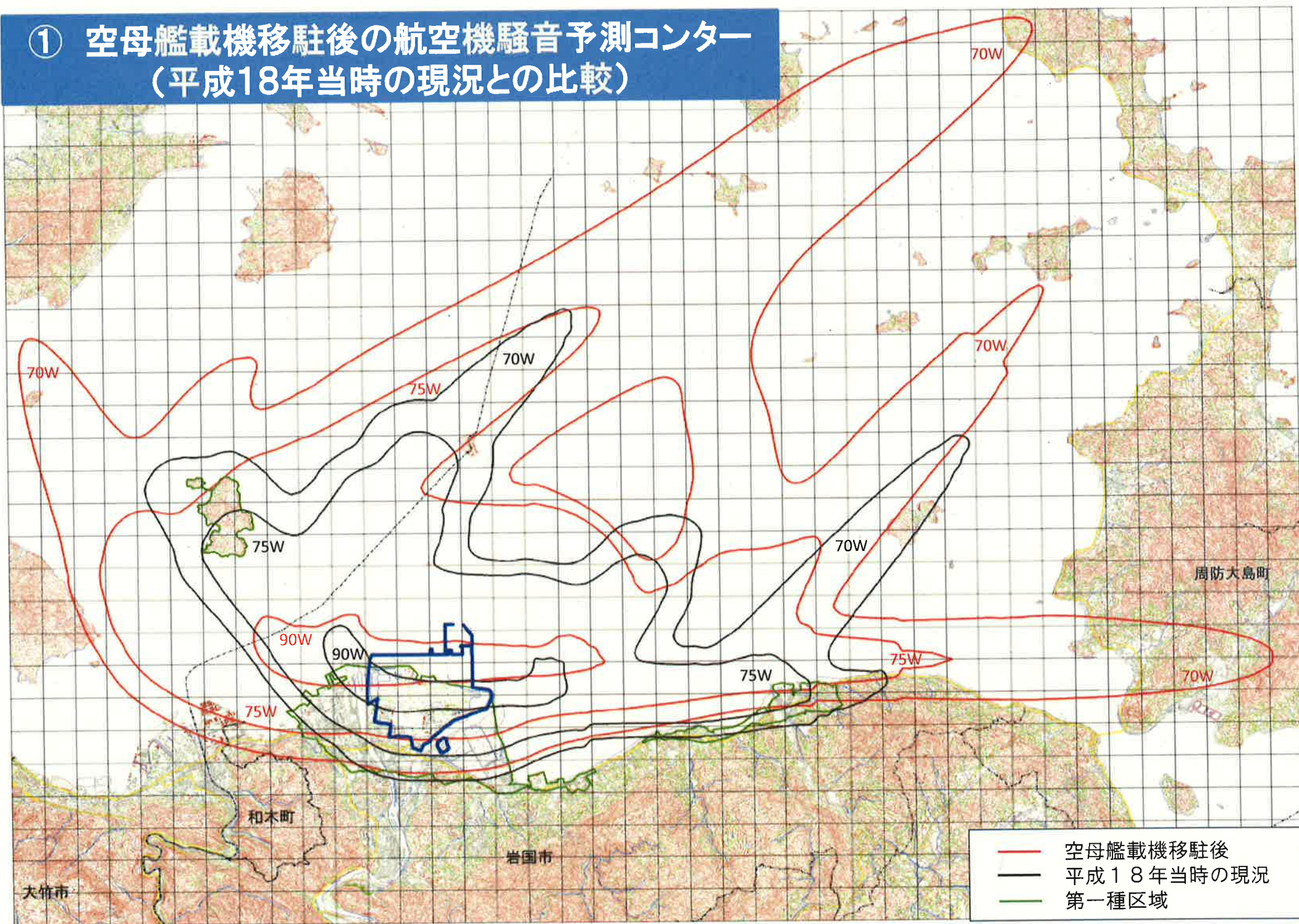


空母艦載機の移駐に係る 航空機騒音予測コンターについて

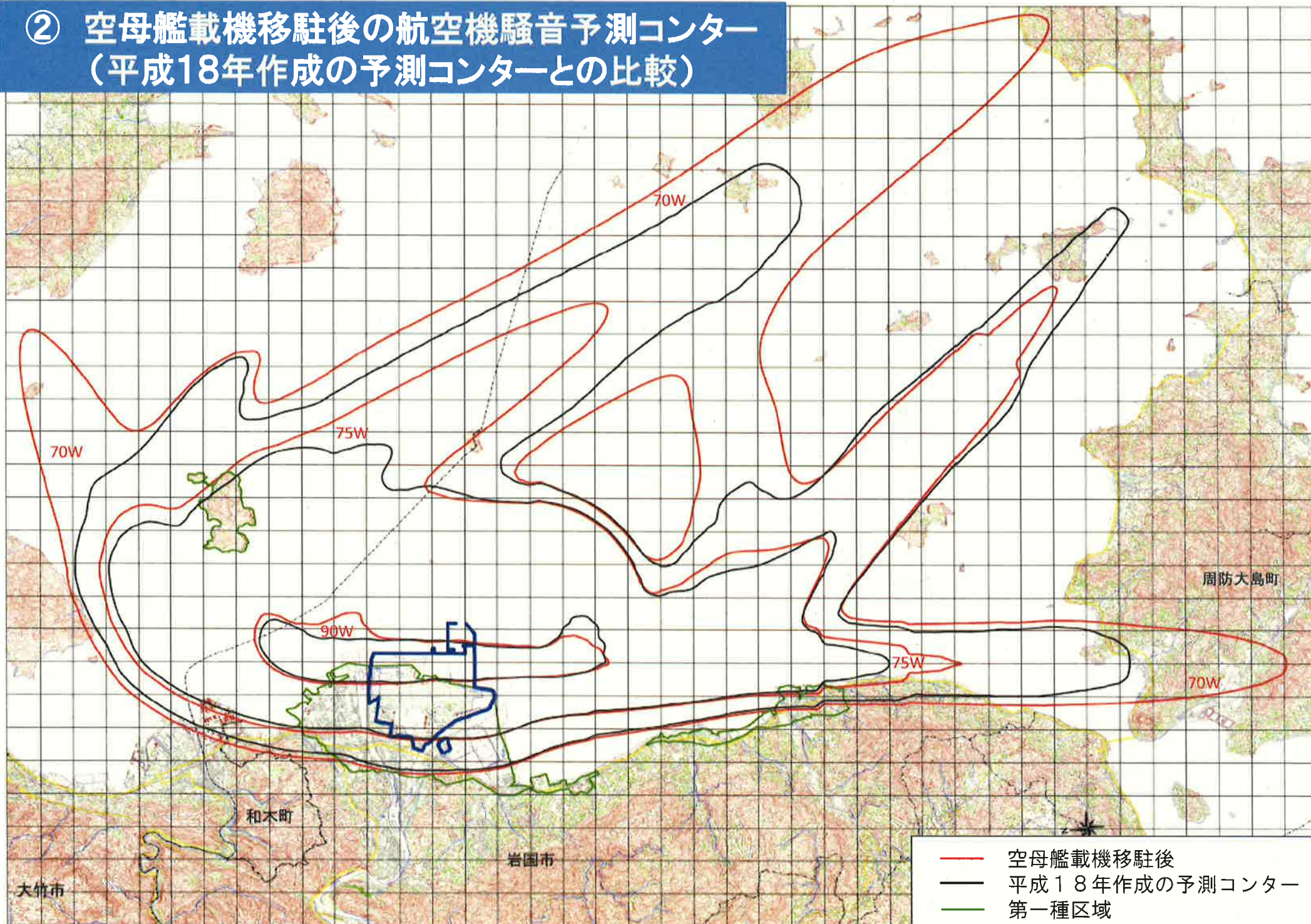
平成 29 年 1 月

防 衛 省

① 空母艦載機移駐後の航空機騒音予測コンター (平成18年当時の現況との比較)



② 空母艦載機移駐後の航空機騒音予測コンター (平成18年作成の予測コンターとの比較)



平成18年当時の主な変更点

	平成18年作成	今回作成
空母艦載機の機種・機数	FA-18C/E/F 49機 EA-6B 4機 E-2C 4機 C-2 2機 計59機	FA-18E/F 48機 EA-18G 6機 E-2D 5機 C-2 2機 計61機（2機増）

1日の標準飛行回数
(うち、空母艦載機)

389回
(空母艦載機:130回)

458回（69回増）
(空母艦載機:145回 15回増)

69回増の内訳

○空母艦載機の増	(+15回)
○海自残留[17機]	(+56回)
○KC-130の増[12機→15機]	(+5回)
○F-35B更新	(▲15回)
○その他(機数・機種の変更)	(+8回)

※ EA-18Gは、FA-18E/F(スーパーホーネット)の騒音データを使用
E-2Dは、E-2Cの騒音データを使用